

50

한국영상자료원
PRESENTS

50/50 PROJECT


 コミュニティ
シネマ
フェスティバル
Community Cinema Festival Vol.1
日韓映画館の旅

50

한국영상자료원 창립 50주년 기념

1950년대 한국영화 디지털 복원 프로젝트

낙동강 | 피아골 | 미망인 | 시집가는날 | 자유부인 | 지옥화 | 돈



1950年代 50s Korean Cinema Masterpieces

韓国映画傑作選

 アテネ・フランセ文化センター
 2026.2.12[木]—2.21[土]
 日曜休館 | 9日間

主催:コミュニティシネマフェスティバル実行委員会

(シネ・ヌーヴォ/ストレンジャー/特定非営利活動法人たかきコミュニティシネマ/ユーロスベース/福岡市総合図書館/アテネ・フランセ文化センター/一般社団法人コミュニティシネマセンター)

共催:韓国芸術映画館協会 KOREA ARTHOUSE CINEMA ASSOCIATION 作品提供・協力:韓国映像資料院 The Korean Film Archive (KOFA)

協力:日本映像学会アジア映画研究会 助成:芸術文化振興基金助成事業/韓国映画振興委員会 Korean Film Council (KOFIC)

<http://jc3.jp/ccfes/>



コミュニティ
シネマ
フェスティバル
Community Cinema Festival Vol.1

日韓映画館の旅

「コミュニティシネマフェスティバル」は、公共的な上映の場、コミュニティシネマとしてのミニシアターやシネマテークの魅力や重要性を広く伝えるため、全国各地のコミュニティシネマが共同で開催する“映画祭”です。記念すべき第1回のコミュニティシネマフェスティバルは、“日韓映画館の旅”というテーマで、互いの国でまだ公開されていない作品を軸に上映作品を選びました。「1950年代韓国映画傑作選」は、コミュニティシネマフェスティバルの関連企画として実施するものです。

1950年代韓国映画傑作選

CELEBRATING 50 YEARS OF KOREAN FILM PRESERVATION

50 YEARS OF KOREAN FILM ARCHIVE

50s KOREAN CINEMA MASTERPIECE

100% DIGITALLY STORED

1974年に創設された韓国の国立映画アーカイブである「韓国映像資料院」は、2024年に創設50周年を迎えました。これを記念するプロジェクトのひとつとして「50/50 韓国古典映画パッケージ」（1950年代韓国映画傑作選）の海外巡回事業を実施しています。日本初上映となる『洛東江』をはじめ、韓国映像資料院が収蔵する50年代の傑作7作品のデジタルリマスター版をまとめることができます。全作品DCP / 日本語字幕付き



洛東江

1952年 / 46分 / 監督: チョン・チャングン (全昌根)

낙동강
NAKDONG RIVER

朝鮮戦争期に制作されたサウンド、映像とも完全な形で残された貴重な作品。慶南道庁広報課の支援を得て、釜山の「郷土文化研究会」「無名映画研究所」によって製作された。原作はイ・ウンサンの詩『洛東江』で、「伝統の洛東江」「勝利の洛東江」「希望の洛東江」の三章からなる。詩情あふれる映像と朝鮮戦争の記録映像を合わせたセミドキュメンタリー。2024年、国家登録文化遺産に登録された。



ピアコル

1955年 / 109分 / 監督: イ・ガンチョン (李康天)

피아골
PIAGOL

険しいピア谷^{피아골}を本拠地として戦っていたパルチザンの実態を徹底的に取材して脚本が書かれ、海拔2200mの高地で撮影された。政府と軍から支援を受けて製作されたが、パルチザンの苦悩を人間的に描いたことが問題視され、反共論争に巻き込まれた。1954年『アリラン』でデビューしたイ・ガンチョンの代表作。国家登録文化遺産であり、2016年にデジタル復元された。



未亡人

1955年 / 76分 / 監督: バク・ナムオク (朴南玉)

미망인
THE WIDOW

韓国映画初の女性監督バク・ナムオクのデビュー作であり、唯一の作品である。朝鮮戦争で夫を亡くし、ひとり娘を育てる未亡人イ・ミンジャを主人公に、女性の性的欲望と母性との葛藤を繊細に捉えている。夫が脚本を担当、姉の資金提供を得て、ナムオク監督は赤ん坊を抱えながら本作を撮った。最終巻が失われており、ラスト10分の音声欠落している。

50s Korean Cinema Masterpieces



嫁入りの日

1956年／80分／監督:イ・ピョンイル(李炳逸)

시집가는 날

THE WEDDING DAY

1934年に発表されたオ・ヨンジン(呉泳鎮)の戯曲「孟進士の慶事」の映画化作品。孟進士(進士は朝鮮時代の下級役人の役職)の一人娘カップンは、金判書(朝鮮時代の高級官吏)の息子ミオンと婚約したが、彼の足が不自由だという噂が流れ…。韓国映画として初めて国際映画祭(第4回アジア映画祭)で受賞、韓国映画が国際的に評価される契機となった。



自由夫人

1956年／126分／監督:ハン・ヒョンモ(韓滄模)

자유부인

MADAME FREEDOM

チョン・ピソクによる新聞連載小説「自由夫人」の映画化作品。商業的大成功をおさめ、朝鮮戦争後の韓国映画の興隆をリードした。大学教授の妻ソニョンは、洋品店で働き始めたのをきっかけにダンス、社交、恋へと積極的になり、家庭から離れていく。ハン・ヒョンモはメロドラマ、喜劇、ホームドラマと多彩なジャンルを手がけ、50年代韓国映画を代表する監督となる。



地獄花

1958年／88分／監督:シン・サンオク(申相玉)

지옥화

THE FLOWER IN HELL

50～60年代の韓国映画の巨匠・シン・サンオクの初期代表作。朝鮮戦争後、焼け跡が残り、米軍が駐留するソウルへ兄を探しに田舎から出てきたトンシクは、米軍物資の窃盗団の親分になっていた兄ヨンシクと再会。米兵相手の娼婦らとも親しくなっていく。農村と米軍基地村、聖と穢れ、兄と弟等の対比を活かしながら、朝鮮戦争後の社会を描き出す。崔銀姫(チェ・ウニ)が兄弟を操る悪女の娼婦を演じ、圧倒的な存在感を示す。



お金

1958年／124分／監督:キム・ソドン(金蘇東)

돈

MONEY

ソン・ギヒョン(孫基鉉)の小説を、金蘇東が製作・脚本・監督を手掛けて映画化した。朝鮮戦争が休戦となり、純朴な農民ボンスの息子も故郷に戻ってきた。ボンスは子どもたちの結婚費用や借金の返済のため、高利貸に米を売るが、巧妙な詐欺師たちに金をだまし取られてしまう。貧しさゆえに破壊していく農民たちの姿を克明なリアリズムで描き出す。大女優チェ・ウニがボンスの娘スニを演じている。

Lecture&Talk

2/20[金] レクチャー

18:15『未亡人』上映後

オ・ソンチ(韓国映像資料院キュレーター)

2/21[土] トーク

16:50『地獄花』上映後

四方田犬彦(比較文化研究者・映画研究者)

崔盛旭(チェ・ソンウク／映画研究者)

石坂健治(日本映像学会アジア映画研究会代表)

レクチャーとトークは本特集のチケット半券提示で入場無料

※レクチャー&トークは追加になる可能性があります。



2026.2.12[木]—2.21[土]

日曜休館 | 9日間

2/12 [木] 全作品DCP／日本語字幕付き

17:40 洛東江(46分)

19:00 ピアコル(109分)

2/13 [金]

17:10 未亡人(76分)

19:00 嫁入りの日(80分)

2/14 [土]

15:50 自由夫人(126分)

18:30 地獄花(88分)

2/16 [月]

17:00 お金(124分)

19:30 洛東江(46分)

2/17 [火]

16:40 ピアコル(109分)

19:00 未亡人(76分)

2/18 [水]

16:40 嫁入りの日(80分)

18:30 自由夫人(126分)

2/19 [木]

16:30 地獄花(88分)

18:30 お金(124分)

2/20 [金]

17:00 洛東江(46分)

18:15 未亡人(76分)

★レクチャー(予定)

オ・ソンチ(韓国映像資料院キュレーター)

2/21 [土]

14:10 自由夫人(126分)

16:50 地獄花(88分)

18:30 ★トーク

四方田犬彦(比較文化研究者・映画研究者)

崔盛旭(チェ・ソンウク／映画研究者)

石坂健治(日本映像学会アジア映画研究会代表)

★レクチャーとトークは本特集のチケット半券提示で入場無料

※レクチャー&トークは追加になる可能性があります。

1950

年代韓国映画傑作選

50s Korean Cinema Masterpieces

韓国映画保存50周年記念—韓国映画アーカイブ50周年

50
50



チケット

- 一般=1400円(3回券=3500円)
- 学生／シニア／障がい者=1200円
- コミュニティシネマセンター会員=1000円
- アテネ・フランセ文化センター会員=1000円
- 7作品鑑賞券5,000円
(限定30枚・各作品1回鑑賞・複数人使用不可)

■各回入替

■当日券のみ／先着順

■チケットは1回目の上映30分前から当日上映分を販売

お問い合わせ・会場

アテネ・フランセ文化センター

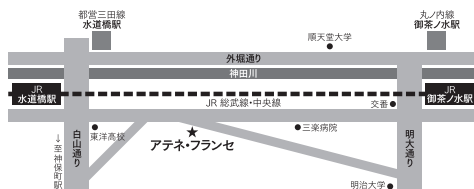
東京都千代田区神田駿河台2-11 アテネ・フランセ 4F

JR・地下鉄 御茶ノ水・水道橋駅より徒歩7分

TEL 03-3291-4339 (13:00-20:00)

infor@athenee.net

<https://athenee.net/culturalcenter/>



日本未公開の韓国映画がやってくる!「日韓映画館の旅」開催

ユーロスペース(東京都渋谷区) 2026年2月28日[土]~3月6日[金]

ストレンジャー(東京都墨田区) 2026年2月27日[金]~3月12日[木]

シネマテークたかさき(高崎電気館) 2026年3月13日[金]~ ※高崎映画祭